

概要版

2024

# むつ市スマートシティ推進戦略

新たな価値の創造

- Smartcity Mutsu -

行政・地域  
知恵・勇気  
価値・創造

スマートシティ推進協議会

2024戦略は、生成AIの登場による新たなデジタル化革命の発展期に入る。このことは、今後のスマートシティの推進にも大きく影響を及ぼすものと考えられる。

また、デジタルデバイスとしてのスマートフォンはマストであり、様々なサービスもスマートフォン中心で展開されることから、**デバイスの普及、教育、相談窓口などサービスを充実させる必要がある**。

行政のデジタル化の足かせになっているのはデジタル人材の不足である。国では**令和5年12月に人材育成基本方針策定指針の改正**が行われ、デジタル人材の育成が急務と位置づけられており、すべての地方公共団体がデジタル時代の住民ニーズに合った行政サービスを恒常的に提供できる組織へと変革し、業務効率や住民サービスの向上、地域課題の解決に取り組むことが求められている。

スマートシティの推進に係る進捗としては、2024年度から都市OSであるパーソナルデータ基盤の運用が始まるが、利用サービスを順次増やすことと合わせて、運用コスト増も懸念されることから、**デジタル地域通貨(調査研究中)の運用益や医療DX、買い物支援、交通サービスの拡充に合わせた利用料なども検討する必要がある**と考える。

都市OSの運用に関しては、内閣府から2024年度以降、**構築する都市OSは分野別に各県1つにと示され**、むつ市で構築したパーソナルデータ基盤は今後、青森県内各市町村で利用される可能性がある。このことから、利用団体での保守費の按分など検討できると考えている。

人口減少局面であることから、供給を需要に合わせる施策が必要であり、人材育成に関してもこれまでの人作りに加えて、**デジタル化の進捗スピードに合わせたデジタル人材育成にシフトしていく必要がある**。

## 暮らしDX（市民サービスの利便性向上）

- ・ 行政手続のオンライン化による利便性の向上
- ・ 窓口手続の簡素化による利便性の向上
- ・ 行政機能の分散化による利便性の向上
- ・ デジタルを活用した情報取得環境の充実
- ・ **スマートフォンの普及**

## 行政DX（行政の業務効率化・働き方改革）

- ・ デジタル技術を活用した業務の効率化
- ・ 時間や場所にとらわれない働き方の改革
- ・ 情報基盤の整備によるコスト削減
- ・ 情報セキュリティ強化とネットワークの見直し
- ・ **デジタル人材の育成強化**

## 地域DX（地域社会の活性化促進）

- ・ 地域の協働による課題解決や活力の維持・発展
- ・ 都市OSの整備と産業活動の活性化
- ・ 誰もがデジタル機器を利用できるまちづくり
- ・ マイナンバーカードの積極的利活用策の推進
- ・ **デジタル人材の育成**

つなぐ、都市OS

DXからスマートシティへ

## スマートシティサービス

- 交通 交通機関の維持・対策  
高齢者の買い物支援  
積雪対策
- 防災 災害時の対応  
津波対策  
津波対策
- 環境 資源循環、ゴミ対策
- 教育 ニーズに合った教育部活動の新たな展開  
地域留学
- 健康 疾病予防  
医療DXとの連携  
介護 生活・福祉の充実
- 農林 経営の効率化  
水産 スマート農業・漁業
- 観光 観光業の振興  
商業サービスの振興  
データの見える化

「笑顔かがやく 希望のまち むつ」の実現に向けて市民が安心安全に暮らしていくために、デジタルの力を活用しながら、一次産業を軸とした地域経済の再生、行政組織のスマート化を進め、歴史・文化・自然等の地域資源の活用によるむつ市ならではのおもてなしができるまちづくりを目指します。

市民

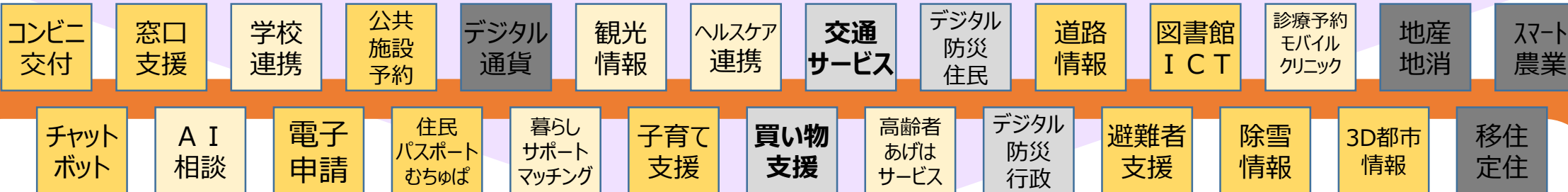
訪問客

事業者

行政組織

地域資源

「笑顔かがやく 希望のまち むつ」の実現



キャッシュレス・地域通貨

地域へお金を落とす“地域通貨”・地域活動への参加行動変容を促す地域ポイント

パーソナルデータ基盤

2023年度 構築範囲

むつデータリンクボード(MDLB)を構築  
都市OS (2023年度に着手開始)  
多種多様なデータを収集・蓄積

共通ID・利用者属性情報管理

データ収集・分析・解析

データ連携API群

SALESFORCE  
地域情報

オープンデータ  
(整備済み)  
青い森データベース

災害時  
安否情報

観光場所情報

地域農産物  
需給情報

PMH連携

基幹系システム  
匿名保管情報

Etc...

稼働中

着手済

検討中

構想中

都市OS

# パーソナルデータ基盤を活用する

住民視点

- マイナンバーカード連携により、1度の登録で様々なサービスを楽しむことができる
- 自分に合った情報（年齢、性別、地域）が届き、暮らしの利便性が向上する
- 個別の相談や通報も可能で、プライバシーにより沿った対応をしてくれる
- 利用するサービス、公開できる個人情報範囲を自分で選択により承認ができる（パスポートアプリ内で）  
**「人生に伴走する市民パスポート（むちゅば）」利便性・利用率向上**

行政視点

- 基盤サービスにて一元管理することでコストの圧縮化が図れ、集中的なセキュリティ対策を施すことが可能
- 市民一人ひとりに最適化する仕組みを提供可能  
**「市民サービスEBPM」 Well-Being最大化への柱**



	2024 令和6年度	2025 令和7年度	2026 令和8年度	2027 令和9年度	2028 令和10年度
行政	むちゅば開始	地域通貨連携（調査研究中） 図書館機能連携	教育連携 子育て・福祉連携	医療連携 ヘルスケア連携	モバイル市役所
住民	医療受給者証	交通系サービス モバイルクリニック <b>（利用料検討）</b>	ライドシェア 暮らしサポート マッチング <b>（シェアリングエコノミー）</b>	地域メタバース	ドローン配送

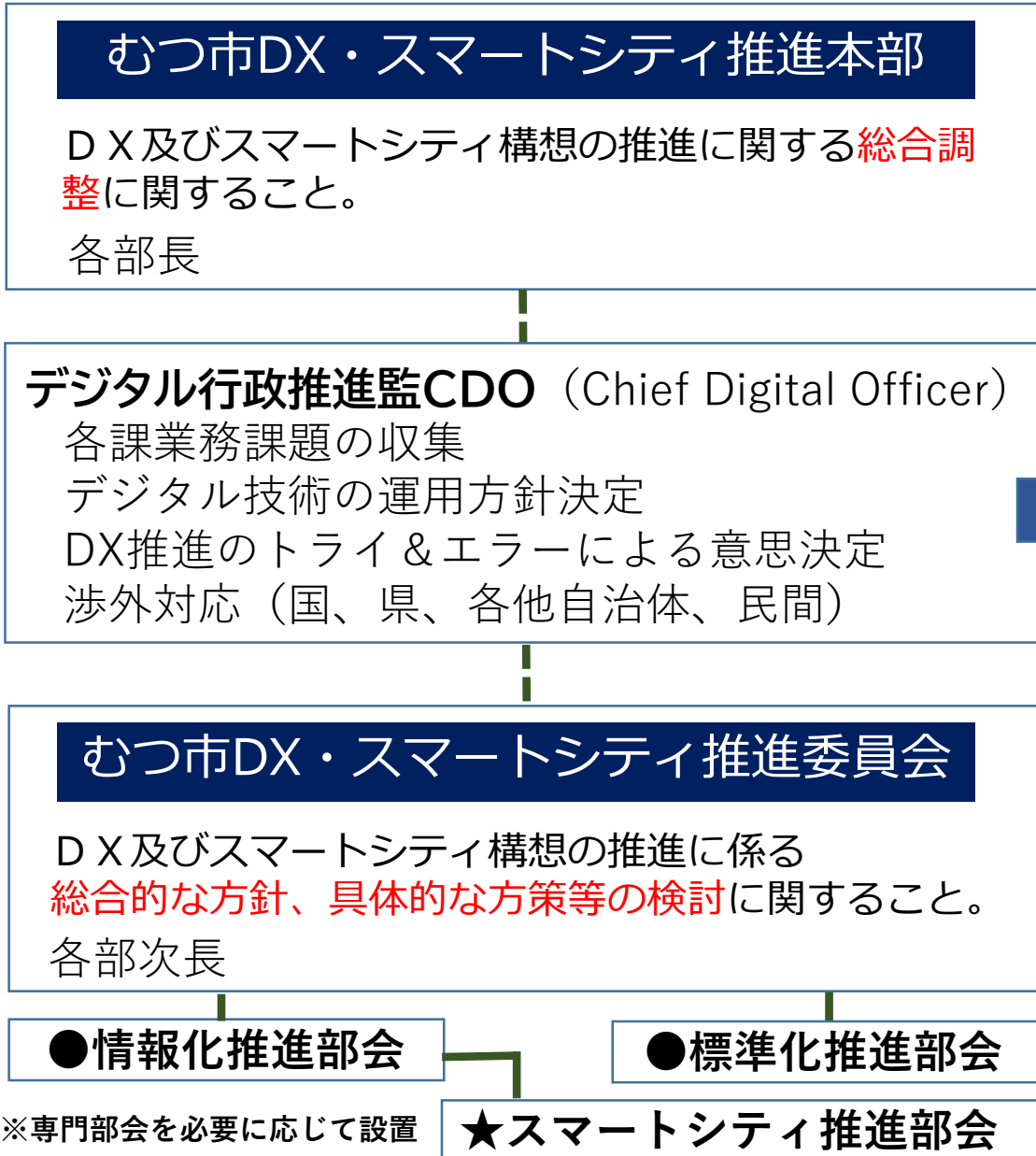
	取り組み事項	R6	R7	R8
行政手続きのオンライン化	むちゅぱ・LINE申請	手続きの拡充	個人認証対応	電子申請の一般化
	施設予約	運用・キャッシュレス対応		
窓口手続きの簡素化	作成支援	運用開始	RPA連携・標準化対応	
	キャッシュレス	導入・運用	地域通貨（調査研究中）	
行政機能の分散化	コンビニ交付	運用	取り扱い種類の拡充検討	
情報取得環境の充実	AIチャットボット	運用 さらにかしこく・chatGPT連携		
	医療DX連携	実証・検討	モバイルクリニック検討	
	スマートフォン普及 デジタルデバイド対策	購入補助・教室 相談窓口設置	サービス提供体制の拡充・研究	

	取り組み事項	R6	R7	R8
デジタル技術の活用 業務の効率化	AI-OCR・RPA 生成AI活用	BPRの継続	デジタルポスト・外部委託の拡充	
	デジタル人材の育成	マネジメント層・実務層プログラム開始		
働き方改革	テレワーク・時差出勤の推進	テレワーク・時差出勤の充実		
	電子決裁・文書管理 ペーパーレス化	庶務管理追加・システム拡充 ペーパーレスの推進・会議システム追加		
情報基盤の整備	標準化対応	標準化移行・BPR/BPO実施	ガバクラ移行	
情報セキュリティ強化とネットワークの見直し	情報セキュリティ強化・ファイル交換	セキュリティ監査対応・運用拡充・USB廃止計画		
	ネットワーク見直し LGWAN・M365	第5次LGWAN・M365導入・βモデル移行検討		
	サーバ環境の再構築	サーバ効率化の推進	サーバ構成リビルド・効率運用	

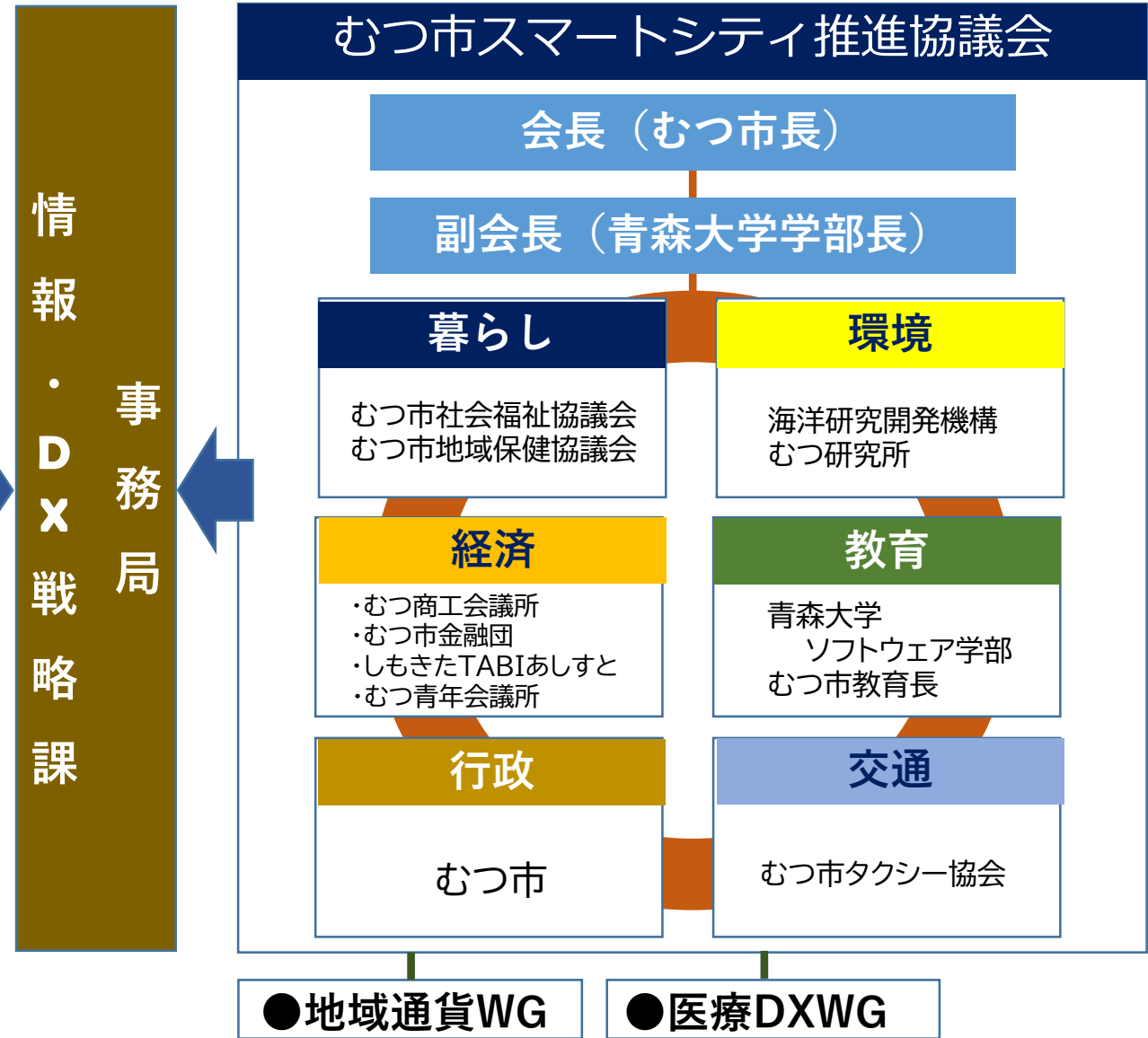
	取り組み事項	R6	R7	R8
地域の協働による課題解決	デジタル地域通貨 (調査研究中)	調査研究		
	買い物支援・サポートマッチング	制度設計	構築	運用開始
都市OSの整備と産業の活性化	都市OSの整備 (県単位化推進)	システム設計	構築	運用 企業アカウントの開始
	オープンデータの活用・更新・追加	分析	データサイエンスの拡充	
日常生活への浸透	まちなかデジタル化	住民アプリ開始	機能追加・スマートストア検討	
マイナンバーカードの積極的利活用	住民パスポートの実装 (むちゅぱ)	デジタルポスト機能検討やサービスの拡大		
	地域交通に活用	ビーコン検討	利用拡大検討	
	医療DXに活用	予防接種・検診情報・PMH連携・他受給者証拡大検討		



## 行政DX



## 地域DX



情報・DX戦略課  
事務局